事例No.	1414
公表年度	R3
団体の属性	複数団体
団体名	愛媛県南予流域１市２町

事例区分	一般行政

タグ	・事務の共同実施 ・社団法人・財団法人 ・地域運営組織

事例種類	森林整備　自治体間連携

事例内容・タイトル

（一社）南予森林管理推進センターの設立

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

森林整備
自治体間連携

愛媛県　南予流域1市2町（（一社）南予森林管理推進センターの設立）

- 愛媛県南予流域は、県内におけるヒノキの主産地として植林や保育などの管理がなされてきたところであるが、近年、高齢化や急激な人口流出により、森林・林業に携わる担い手は減少を続け、また過疎化の進行により所有者不明森林が増加し、権利関係が複雑化するなど、思うように森林整備が進まない状況が生じており、公的支援による新たな森林整備に対する取り組みが求められている。
- このため、南予流域の１市２町が一体的となって新たな森林経営管理制度を進めることとし、森林環境譲与税を活用し、新たな連携組織『一般社団法人南予森林管理推進センター』を令和元年12月20日に設立した。
- 同センターでは、意向調査から森林整備までの業務を一元的に管理するとともに、市町連携による新たな森林整備や担い手の育成確保を実施。なお、令和４年度からはセンター内に『南予森林アカデミー』を設立し、地域の担い手の確保にも力を入れる予定。

□　事業内容

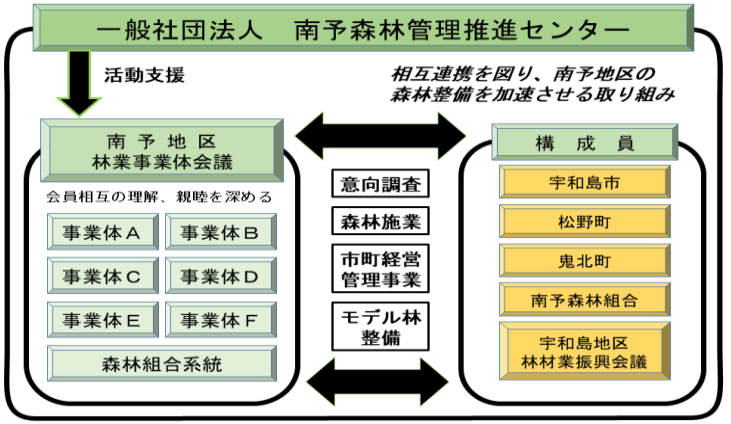
- 森林経営管理制度を進めていく上で、主導的役割を果たすべき主体として位置づけられている市町の体制を支援するための組織として、令和元年12月20日に（一社）南予森林管理推進センターを設立。
- 同センターが市町や森林組合との連絡調整や技術的支援を行うことで、森林の健全化と災害に強い森林づくりを推進していくこととしている。また、運営にあたっては、「森づくり」「人づくり」を２本柱として重点的に取り組むこととしている。

【事　業　費】事 業 費　　17,320千円 （全額譲与税）（各市町負担金）
【実　　績】意向調査　宇和島市二名地区1,218.45ｈａ
　　松野町奥野川地区　888.81ｈａ
　　配分計画　鬼北町大宿地区　4.56ha
　　（令和元年度集積計画公告済み）

□　工夫・留意した点

- 法律に基づき市町でしか実施できない事項以外はセンターで事務手続きを行っており、市町職員間での情報共有などにより効率的に事務を行う環境を整備。
- センター内に『南予地区林業事業体会議』を設置し、地域の林業事業体間の相互連携を図りながら研修会等を実施。
- 即戦力となる人づくりを目指すため、令和４年度から『南予森林アカデミー』を開校予定。

□　事業スキーム



◇　基礎データ

	宇和島市	松野町	鬼北町
①令和２年度譲与額	39,716千円	14,246千円	48,688千円
②私有林人工林面積（※１）	9,978ha	3,665ha	10,442ha
③林野率（※２）	71%	84%	85%
④人口（※３）	77,465人	4,072人	10,705人
⑤林業就業者数（※３）	89人	23人	95人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より